

中津ロータリークラブ週報

2020-2021年度 中津RC会長スローガン

『ロータリーをつなぐ』“今は耐える・そして備える”


ロータリーは機会の扉を開く
ホルガー・クナーク
2020-2021 RI会長テーマ

第3261回 2021年3月10日 点鐘:12:30

本日の出席者	会 員 数	51名	欠席者 (8名)	事前: 林会員、出利葉会員、柿内会員、三重野会員、峯中会員、大家会員、山本洋一郎会員、吉田会員
	出席対象者数	51名		
	出 席 数	43名		
	出 席 率	84.31%	今週の歌	我等の生業
来 訪 者	本庄伸子会員 (宇佐)			

●会長の時間〔末永会長〕

少しずつ春めいた季節になって来ましたが、季節の移り目、体調に変化は御座いませんでしょうか？まさに三寒四温を繰り返し本格的な春はもうそこまで来ているという感じがします。本来で有れば今週末3月13日（土）、14日（日）は、新しい熊本城ホールで盛大に地区大会が開催される予定でしたが、先週ご案内させて頂いた通り、14日（日）にWEBでの開催に変更になりました。硯川ガバナ―も昨今の状況を考慮しての苦渋の決断だったと思いますが、日本一のオンライン地区大会を目指すとおっしゃっていますので、興味のある方や特に次年度委員長候補の皆様は閲覧されてみてはいかがでしょうか？必ず今後の参考になると思います。さて、明日3月11日は東日本大震災の発生から丸10年を迎えます。ハード面での復興は進んでいるとはいえ、被災地では今なお震災の影響に多くの方が悩まされている現実も多々あります。特に原発事故に関しては終わりの見えない道半ばという所でしょうか？我々に出来る事は、この震災を風化させることなく次の世代へ語りつないでいくことだと思いますので、明日3月11日午後2時46分、心静かに黙祷をささげたいと思います。

ロータリーの3月度は「水と衛生」月間ですので、現在ロータリーが取り組んでいるいくつかの事業をご紹介します。ロータリーの6つの重点目標は、皆様ご承知の通り、①平和構築と紛争予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥地域社会の経済発展、そして「環境」が新たに加わり7つになっていますが、その中でも「水と衛生」は、ロータリーが何十年にわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人々が安全な水を利用できるように支援してきました。しかし、最大の課題はこのような事業の後にあります。プロジェクトが継続されず、持続不可能に陥り失敗に終わるケースが多々あるとの事です。原因は、地元住民の当事者意識や教育に欠陥があり、地域社会が自立して長

期のプロジェクトを管理するのに具体的な支援策が整備されてこなかったことにあるようです。そこで、昨今ではロータリー財団グローバル補助金、ロータリアン行動グループ（2007年結成）、米国国際開発庁がパートナーシップを組み「WASHプログラム」を開発し、活動の焦点を「教育」「協力」「持続可能性」に転換してきました。支援する側が地域社会のニーズを憶測で判断せず、真のニーズを理解し、また、支援を受ける側の地域社会の人々が自力で継続していければ、そのプログラムは成功とはいえないという事です。今後我々中津ロータリークラブも様々な奉仕事業を行っていきと思いますが、長期的に持続可能な奉仕活動であるかを念頭にプロジェクトを計画、立案してみても如何かと思います。因みに、3月22日は「世界水の日」です。

●幹事報告〔山本昌豊幹事〕

- ・例会変更 中津中央、湯布院
- ・週報回覧 杵築
- ・その他回覧 月刊もみじ
- ・四半期会費請求の件
- ・半期決算報告
- ・例会後、向笠記念公園竣工に関する特別委員会を開催します。

●委嘱状〔瀧会員〕

2720地区2021-2022年度 諮問委員会委員、ガバナ―指名委員会委員、国際大会推進委員会委員、地区規則・手続委員会委員、地区戦略計画委員会委員



●「ロータリーの友」の紹介

〔R情報・公共イメージ委員・永岡委員長〕

【縦組】4p/企業による共助「業助」、14p/柳壇（福澤会員）、23p/ロータリー アットワーク（日田中央RC）【横

組】22p/今、思うこと

●例会川柳〔福澤会員〕

もう目の前だ 教科書廃止 タブレット
久し振り あんた誰かえ マスク越し

●ニコニコボックス

〔川眞人会員〕 病院40周年のお礼

〔細川会員〕 Go Toイート券について

〔伊東会員〕 病院を引き継ぎ40年です。

〔福澤会員〕 お久しぶりです。

〔川眞之会員〕 病院40周年のお礼

〔末永会長〕 ゲスト歓迎

〔本庄会員（宇佐）〕 例会の見学にきました。

〔松永会員〕 川眞整形40周年お祝い

●会員卓話

「当面の投資環境」

福島英治会員



〔日本の景況〕

行動制限から新型コロナウイルスの感染拡大は徐々に小康状態に。緊急事態宣言が解除されても、行動制限などは残ると見られるためV字回復には至らない見込み。一方、企業業績の回復基調は維持しており、次世代に向けた環境投資やデジタル投資が追い風に。目先は、東京五輪・パラリンピック開催可否の判断にも注目。

〔日経平均30,000円のその先へ〕

日経平均は大台を突破

日経平均は米追加経済対策の大規模かつ早期成立期待、国内企業業績の改善などが追い風となり、2月に1990年8月以来となる30,000円台を回復。その後、米金利の上昇ピッチ加速を受けて下落した。新型コロナウイルスを巡っては、国内外で新規感染者数がピークアウトしているほか、国内でもワクチンの接種がスタート。航空・鉄道・旅行関連など、新型コロナで業績に打撃を受けた銘柄の株価は業績の復調期待などを背景に上昇しており、物色の裾野は広がっている。

日経平均30,000円の先を見据えて

日本株は短期的な過熱感が意識されやすい局面と考えられる。ただし、日経平均が過去最高値（38,915円）を

付けた1989年12月末（バブル期）と比較すると、名目GDPは約2割、企業利益は約4割伸びている。PERとEPSの観点からもバブル期との違いは鮮明である。PERはバブル期が49.0倍であったのに対して、現状は17.2倍と、高い成長期待が許容されたバブル期との違いは大きい。一方で、EPSはバブル期から約1.8倍となっており、企業は着実に稼ぐ力をつけているとみられる。

足元の株価の牽引役は期待先行によるPERの上昇から世界景気の回復によるEPSの増加に移っている。予想PERが足元の18倍程度と仮定すると、TOPIXの予想EPSから試算した日経平均は今年の秋頃に33,000円が視野に入る。

金融政策の転換には神経質になりやすい局面

足元の日本株上昇は金融政策にサポートされている側面も大きく、市場は政策の転換を巡って神経質になりやすい地合いとなっている。足元ではFRB（米連邦準備制度理事会）関係者の金利上昇容認とも取れる発言が米金利の上昇を招いた側面もあるが、早期のテーパリング（資産買入の縮小）観測を打ち消すような発言も相次いでおり、一定の安心感を誘っている。

一方、3月18～19日開催の金融政策決定会合では日銀が政策点検の結果を公表する見通し。ETFの買入れは新型コロナ対応で当面は年間上限12兆円、原則は6兆円としているが、方針を変更するとなれば一時的に市場の動揺を誘うことになろう。ただし、日銀のETF買入れによって日本株が大きく押し上げられてきたと言い難く、日本株の方向性を大きく左右するきっかけとはならないとみている。

6～2ヵ月先の見通し

TOPIX採用3月期決算企業の22/3期営業利益予想はコロナ前（20/3期）の水準を上回る見込み（2/26時点の東洋経済予想）。ワクチンの普及加速、金融・財政政策などを背景に業績回復の確度が高まることで、日本株は底堅く推移しよう。米国でのテーパリングに対しては警戒を要するが、パウエルFRB議長は事前に明確なコミュニケーションを取っており、前回のバーナンキ・ショックほどの急落は避けられるとみている。

J-REITは超低金利下が継続し、経済の正常化で分配金が安定するとなれば2,250pt回復を目指す。

（文責：永岡侍紹央）

●3月31日（水）例会のご案内

クラブフォーラム



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局／〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909

E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL <http://www.nakatsu-rc.com>

例会／毎週水曜日 12:30～13:30 ヴィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2020-2021年度 会長／末永克典 幹事／山本昌豊 公共イメージ委員長／永岡侍紹央